

デザインマネジメントで、
社員のモチベーションが向上

CASE 05 事例紹介

イ コ ロ icoro (自然対流式アルミ パネルヒーター)

icoroはトイレや窓下に設置することにより、ヒートショックや結露抑制を図ることができる補助暖房器具です。低電力、安全、持ち運び簡単な上、冷気を押し上げて対流させ、室内温度の均一化を図れます。

デザインマネジメントに取り組み 始めたきっかけ

当社では「マルチヒーター」という窓の結露を防止するヒーターを製造・販売しています。

冬になると急激な温度差が原因で身体に大きな負担がかかる「ヒートショック」と呼ばれる現象が起きます。主に高齢者が、トイレやお風呂で転倒により負傷したり、場合によっては亡くなることもあります。これを予防するためにマルチヒーターの技術を活かしたトイレ用ヒーターを開発したいと考えたのがきっかけでした。

製品化するにあたってデザイン性が不足していると感じ、デザイナーの高橋尚基氏の力を借りることにしました。

使用者の立場にたった製品開発

高橋氏に開発の場に入ってもらって最初に気付いたのは自分たちにお客様視点」が欠如していたことです。社



内だけではどうしても開発者側の発想になってしまい、自己満足に陥っていた面がありました。

まず、高橋氏の勧めで、東京で行われた家電の展示会を見学し、世の中で受け入れられているデザイン性の高い製品を勉強しました。そのうえで、自分たちが開発したい製品について議論し、高齢者がトイレで使用することを想定して、「低電力で、安全安心に長く使ってもらおう」ことをコンセプトとしました。

開発は、早い段階から試作を繰り返し、改良点を確認しながら進めていきました。高橋氏が設計面で難しい要求を出してくれたことで、妥協することなく良い製品を生み出すことができました。例えば、空気の対流を促すタジン鍋のような形状ですが、同じ形の部品を6個組み合わせることで作り出すことができます。見た目も優れていますが、量産化や生産コストにも考慮したデザインです。

試作がある程度進んだ段階で、近隣の約20名の方に協力していただきユーザーテストを実施しました。シンプルなデザインや、わかり易い操作が好評だった反面、持ち手が欲しい、スイッチは2つあった方がいい、といった改良点も見つかりました。

社員のモチベーションが向上

今回の開発では社員の意見が採用されることもあったので、社内の空気に活気が出てきました。タジン鍋型デザインは、社員の意見が元になっています。また、製品に合う部品を探すため、何件もの問屋に問い合わせたこともありました。自分達で考えながら、一つの目標に向かって真剣に進む経験ができたことは、次の機会にも必ず役立つと考えています。

- 01 パネルヒーター「icoro」
02 商品コンセプト出しの様子
03 代表取締役 中川 富雄氏

Company Profile



株式会社ナカガワ工業

所在地：恵庭市大町2丁目4番1号

TEL：0123-32-6111

代表者：代表取締役 中川 富雄

資本金：1,000万円

設立：平成3年(1991年)

主要事業：小型家電製品・省電型補助ヒーター(窓面・足元の補助暖房)及びオルゴール・万華鏡製品の製造及び販売

URL：http://nakagawakougyou.net/

Designer Profile

高橋 尚基 Naoki Takahashi

高橋尚基デザイン事務所 代表/工業デザイナー/商品開発コンサルタント

1973年北海道滝川市出身。

大学卒業後、日本鉄塔工業株式会社入社(東京都)。営業部門にて製品企画・デザイン開発・提案型営業企画に従事。2001年道内企業のデザイン開発を志し、Uターン。高橋尚基デザイン事務所設立。以来、ものづくり企業を中心に企画、コンセプト、製品デザイン開発から企業CI媒体開発、地域特産物におけるデザインディレクション等幅広い分野で道内中小企業をサポートする。※本事例のアドバイザー派遣は、厚生労働省緊急雇用創出推進事業「地域人づくり事業」により、北海道が(一社)北海道機械工業会へ委託して実施したものです。

